

平成13年11月22日

各位

東京都千代田区神田須田町1-3

日本板紙株式会社

(コード番号3869、東証第一部)

[問い合わせ先] 企画部長 竹原俊夫

03-3251-3714

第2次中期経営計画の見直しと
亀有工場閉鎖時期の前倒しについて

当社は本年2月に策定した第2次中期経営計画(平成13年度~平成15年度)に基づき施策の一部に着手しておりましたが、その後の段ボール原紙の需要見通しの悪化、日本板紙共販(株)の発足と日本ユニパックグループ板紙3社設備余力活用の可能性等の経営環境の変化を考慮し、緊急的措置として、計画内容の見直しを行なうことを決定いたしました。

1. 亀有工場の閉鎖について

グループ板紙各社の設備余力の活用を含む最適生産体制の早期実現と諸経費の極小化を図るため閉鎖時期を前倒しする。

閉鎖時期 : 平成15年3月末(半年間前倒し)
(当初計画は平成15年9月末日途)

停機する抄紙機: 2台 (当初計画通り)

3号抄紙機 日産 75ト 色板紙、チップボール他

5号抄紙機 日産 510ト 外装用ライナー

2. 経営計画投資の変更

亀有工場閉鎖にともなう設備投資は品質対策、省力化対策、物流対策等必要最小限とし、当初計画した他工場の段ボール原紙増産対策工事を行なわないこととする。

3. 全社要員体制について

亀有工場閉鎖前倒しの効果が早期に実現するよう関係会社、協力会社も含めた当社グループ全体の必要人員の見直しを行なう。そのために必要な措置の具体案を早急にまとめる。

以上の通りでございますので、関係各位には宜しくご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上